

令和 7 年中標津町議会 9 月定例会 委員会代表質問要旨

通告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	総務経済常任委員会 1 番 たけだ 武田 かいと 開人	中標津モデルを活かした人口減少対策を	
		1) 交流人口の増加と新規雇用の創出について	
		地場産品販売所を拠点に農業高校卒業生が現場を担い、I T を学ぶ学生がデジタル分野を支え、観光客が交流する仕組みを形成することで、農業振興、若者雇用、交流人口増を一体的に実現できるのではないか。販売拠点を農業振興や若者雇用、I C T 人材活用と結び付けて推進していくべきでは？	町 長
		2) 定住・移住促進のための住宅整備施策の強化について	
		移住者への住宅供給ではPFI事業活用で行政のトータルコストを抑制し、質の高い住宅整備が可能と考えられる。また、移住希望者への強力なアピールとなり地域経済の活性化や新たな雇用創出につながり、さらに交流人口の増加が新たな移住希望者を呼び込み、「交流から定住」の好循環が期待される。PFI事業活用の考えは？	町 長
		3) 情報発信の強化について	
2	文教厚生常任委員会 8 番 さくま 佐久間 こ ふみ子	介護事業の持続可能な体制強化に向けた取り組みを	
		1) 若年層・子育て世代への就労支援の充実を	
		例えば町立病院の院内保育所のように安心して保育と就労の両立が可能な環境を整備することが必要ではないか？また、介護資格の取得・更新に係る経費の拡充で経済的にも安心して介護業務に従事できる支援が必要と考えるが、今後、介護人材の就労定着を目的とした支援の考えは？	町 長

令和 7 年中標津町議会 9 月定例会 委員会代表質問要旨

通 告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
2	文教厚生常任委員会 8 番 さくま 佐久間 こ ふみ子	2) 介護用機器導入の支援を	
		介護業務は身体的負担が大きく、仕事は続けたいが、体の不調を要因として離職される方もいる。高齢者人材の活躍は重要で、介護用機器の活用により身体的負担軽減を図り就労環境を改善することは就労継続に大きく資すると思われる。機器導入の補助や助成など、本町が主体的に支援策を講じるべきでは？	町 長
		3) 外国人介護人材の受け入れ体制構築を	
		介護人材の慢性的な不足から外国人材を雇用している現状がある。今後、さらなる人材不足が危惧される中、外国人材の受け入れを一層進めることが重要である。外国人材受け入れに対する体制整備の取り組みを進めるべきでは？	町 長
		4) 介護予防と軽度者支援の強化を	
		高齢者ふれあいサロンや老人クラブの活動は、高齢者の居場所づくりなどの介護予防・健康寿命を延ばす取り組みとしての大事な役割を担っている。また、元気な高齢者を増やすことは、将来的な介護現場の負担軽減につながると考えるが、活動継続支援は必須だがより一層の支援強化の考えは？	町 長